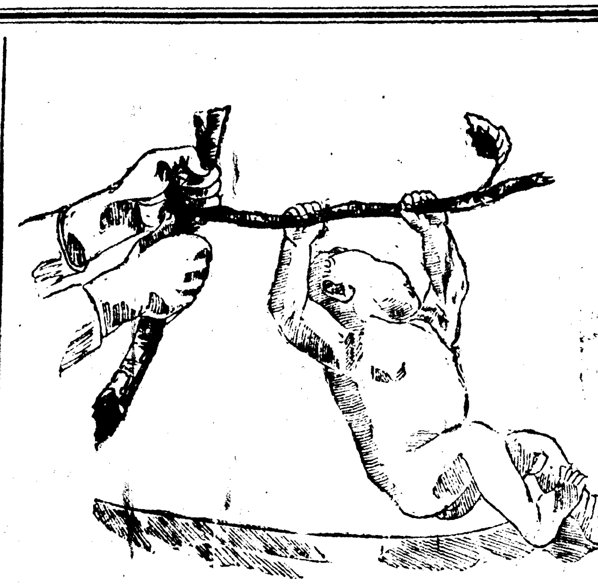
時事新報

嬰兒は猿に似たり

人と猿とは其先祖を同じふするものにして今を去ること幾萬年の其昔此世界に猿とも附かず人とも附かざる一種の動物ありて其子孫が自然淘汰の作用により次第に進化變遷して一は人となり一は猿となりたるものなりとはチャーレス、ダーウヰンの始めて主唱したる所にして今日西洋の動物學者社會に行はるゝ定説なるが近頃英國の學者ドクトル、ロビンソンは嬰兒は即ち人間の尚ほ發達せざるものなれば必ず猿に似たるの點ある可しとて色々實地の試驗を行ひたるに如何にも面白き結果を得たる其中にて最も驚く可きは嬰兒が猿と等しく手を以て木の枝より下ることを得るの一事なり同氏は百五十人の嬰兒に就て試驗を行ひたるに出産の後僅かに一二時間を經たるものにても圖の如く木の枝より下ること十秒乃至二三分間に及ぶ者少からず全く下ること能はざりし者は百五十人の中唯二人のみなりしと云ふ又氏の説に嬰兒の足の大指は大人のものよりも外に開きて稍々手の拇に似たる處あり今試に嬰兒が木の枝より下りたるとき其足の邊に木片などを持行けば直に足にて之を握らんとするの狀を爲すを常とす是れ即ち四手動物たる猿の特性を表はすものと云ふ可し又嬰兒に木の枝を握らしめて其枝を上に擧ぐるも毫も苦み叫ぶが如きことなく如何にも平氣にて之に取り付き居れり斯て二三分間を經たる後、手を離して落るときも決して握りたる手の疲れて自然に離るゝには非ず自から身體の位置を變せんとして過て手を離すものゝ如し何となれば其落ちたるとき再び之に指などを握らしむるに毫も力の衰へたる徴なければなり爰に一の注意すべきことは右の試驗を行ふには第一に室内の温度を高くし又嬰兒の落ちたるとき害を受けざる爲め下に柔かなるケットを敷くなど用心に用心を加へて始めて行ふ可きことなれば素人が慰み半分に之を試るが如きは誠に危險の至りなりと知る可し



雜報

○大木文部大臣の演説（昨日の續き）

第二條第二項に掲ぐる者即ち人道實踐の方法を示したるものにして其列記したる者は其綱領なり之を擴充し之を推究すれば其意の含蓄する所亦自から明なるべし孝悌友愛仁慈信實禮敬は讀みて字の如し但し仁慈以下に就て含蓄する所の意義を陳述すべし

仁慈は仁慈の心を施し博く愛憐するの意たるに外ならずと雖ども爰に尚ほ一層を進むべき者あり其仁慈の心を推廣めて以て物に及ぼすと云ふことは是れなり凡そ人間相互の間に於て仁慈の心を加へざる可らざるは固より言ふを待たず苟も良心の在るありて夫の物類を虐使するが如きは亦忍びざる所ならずや是れ亦仁慈の範圍内に包含する者たるを知るべし

信實も亦讀みて字の如く人に對して言行背反せず己れを盡すに實を以てすべしとの謂なりと雖も此中に亦責任ある者を包含することを知るべし

夫れ社會相互の間凡百の事物相運轉活動して疊滯する所なく獨り凝滯するなきのみならず又社會の福祉增進する所以の根基は其有形と無形とに拘らず人各其負ふ所の責任を盡すに在り若し各人が其責任を盡すことを怠らば百事百物皆信を置く能はず敗壞退縮して社會の不幸焉れより甚しきなかるべし故に行爲にして其責任を盡すに怠るものは之を信實の行爲と謂ふを得ず故に信實中自から責任ある者を包含するものとす

禮敬も亦讀みて字の如しと雖も亦輕々之を看過す可らず夫れ禮は社會相互の間寸刻も離るべからざる者にして其大其小包ねざる所なし而して禮の主とする所は敬なり故に曰く禮は敬せざるなし又曰く禮は宜しきに適す此二語は則ち禮の眞相にして社交第一の眼目なり禮式は敬の形を顯はしたる者なり其無形にして敬の存在する所も亦禮也其形を成したると其形を成さゝるとを問はず人皆以て由らずんばある可らず故に禮は百行に通じ萬事に涉る者にして要するに唯敬の在る所なり故に之を大にしては邦國相交る禮に非ざれば攝せず之を小にしては一言の微一行の細と雖も禮に非ざれば行はれず凡そ人類の自由と云ひ權利と云ふ亦皆敬禮に由て而して後能く行はるゝを得

夫れ所謂權利自由なる者は己れ獨り之を行ふを得て人之を行ふを得ざる者とせん乎人は當さに笑はんとす其背理の甚しきを試みに思へ人誰か已れの欲せざる所を欲し已れの惡む所を好む者あらん乎故に已れが權利と自由とを重んぜんと欲する者は亦人を毀傷す可からず然らば則ち傲慢なり誹謗なり妄語なり皆禮敬を失する者なり故に禮敬の裏面に就て之を戒めずんばある可からず

孝悌友愛は親子兄弟朋友の間に於ける道にして百行の基たるは固より論を待たず仁慈信實禮敬は廣く人に對するの道なり人の交際上親疎厚薄あるは固よりなりと雖も既に廣く人に對するの道なる以上は地球上人類に對し之を踐行するは人の當に爲すべきの道なり

義勇恭儉は人に對するの道なり然れども二者は自から守るに就て之を言ふ即ち勇は一日も無る可からず若し夫れ人にして勇なくんば其爲さんと欲するに當り躊躇逡巡成功を誤まるに至る凡そ活潑の氣象と元氣とを有し國の爲め身を殺し骨を碎くが如きは皆是れ勇の作用なり故に人にして勇なくんば鳥の翼なく獸の足なきに似たり然れども勇にして義なくんば眞の勇に非ざるなり故に勇と義とは須臾も離る可からず又人の行爲は撿束する所なかる可からず然らざれば不測の災害を惹起するに至る故に恭儉は正當なる撿束なるを知るべし

凡そ國民たる者は其國君及國家に對して忠節を盡すは至當の事なり日本國に生れ日本國民たる者は誓て尊王愛國の志氣を發成し居常皇室の爲め日本の爲め忠節を盡すことを忘る可からず

天皇は萬世一系の帝祚を踐み日本を統治したまふの元首なり須く一意一心

天皇に奉事して易るべからざるは我輩四千有餘萬臣民の責務なり而して四千有餘萬の臣民は日本國に生れ日本國の臣民なれば勇壯活潑日本國の爲め忠節を盡さゝるべからず此志氣を養成するは國民教育の骨子にして一日も忽にすべからざるものなり但し其志氣を養成するには能く之に事歷を示し以て感動する所あらしむるは肝要なり是れ歷史教授の最も注意すべき所なり

孝悌以下は皆人道實踐に於て一も缺くべからざるは勿論なりと雖も若し尊王愛國の志氣微弱なるときは日本國民たるの道を缺き百行の善も尚償ふに足らざるものあり如何となれば國家に對するの缺德は各箇人に對するの缺德より其害一層大なればなり是れ本條文中「殊に」の文字を冠し人道實踐の方法を授くるに於て殊に尊王愛國の志氣を養成することに務めしむる所以なり

夫れ尊王愛國の志氣を養成するの外亦國家に對する責務を知らしめさるべからず爰に國家に對する責務の何たるを擧ぐれば租税兵役服從等の義務の類の如しと雖も尚一歩を進めて其無形なるものに及ぼさば更に又緊要なる者あり私を以て公を害するなく小を見て大を忘るゝなく國家即ち公に奉ずるの思念を單純專一ならしむると云ふことは是なり吾人各自は國家に奉ずるの思念を一にして以て國家の福祉を計らざるべからず故に吾人が國家に對する所以のものは一個の人に對するよりも其關係甚だ大なり故に國家に對するの責務を盡さゝるものは一個の人に對するよりも其缺德たる亦深しとす故に吾人が國家に對する責務を盡すは一個の人に對するよりも其美德たる亦高しとす教育上の注意怠るべからざるなり

凡そ人の不良なる行爲を防制するに法律を以てするは其形れたるものを制するに止まり背德の行爲を制するにも少しとす然るに人の行爲千緒萬端道德上に闘するもの多きに居る若し人の行爲にして法律の制裁を以て限度とせば人は殆ど禽獸に近きに至るべし如何となれば人は前已に述へたるか如く外圍の形情に感染して良心亦退縮することあるを以て其行爲は往々不良に傾向するに至ればなり此場合に於て之を防止するものは獨り社會の制裁あるのみ假令良心を以て不良の行爲を壓抑する能はさるに際するも社會の擯斥を恐れて以て其行爲を制止する場合甚だ多しとす故に社會の制裁は常に良心の援助をなす者にして畢竟良心ありと雖も若し社會の制裁なくんば良心は常に孤窮の境遇にありて其發達を失ふに至らん然るに人若し社會の擯斥を懼れざるあらば社會の制裁其効力を損し効力減すれば人益々之を懼れざるに至り社會は遂に不良の域に陷るべし而して人が社會の擯斥を顧みざるに至るものは是れ其廉恥の重んずべきを知らさるに依る故に廉恥の重んずべきを知らしむるは德育上亦緊要のことなり要するに人は廉恥を重んぜざれば社會は常に萎靡敗頽するに至らん管子曰く禮義廉恥之を四維と云ふ四維不振國則滅亡すと

若し背德の行爲あるも恬然として恥つるなく廉恥の何物たるを顧みず表裏反覆詐僞是れ競ひ苟も免かるゝを以て得策とし不德の行爲不善の擧止日に相積みて全社會に充塞するに至らば是れ之を何とか謂はん故に社會は常に其制裁を嚴にし人は臆さに廉恥の重んずべきを知り相依りて以て社會及國家の品位を上進し風を正し俗を直くし以て其福祉を增進せんことを努めざるべからず教育上最も意を用ふべきの一事なり

以上述ふる所の事項は日本國民たる者の踐行せざるべからざるものなるを以て其程度を量り之か宜しきに適せしむるは教員諸君の方寸にあるべしと雖も之を取捨するを爲さずして假令淺きも其全體に涉らしむべし

高等小學校に於ては較々深く之を教へ陶冶の功により益々其志操を堅固ならしむるを務むべし諸君宜しく堅固の二字に意を留れんことを望む

女兒に在りては素より男子と異なるあるも其國民たる所のものは一也但し活潑なる元氣を養成し國家の難に赴くべしと云ふが如く之を直接に磨勵するは過ぎたる所なるん然れども其意は常に存せざるべからず如何となれば女子は家庭教育の訓導なればなり又貞淑の美德を養ふべしと云ふは女子の本分たること言を待たざる所なり

從來修身の教授に於ては古人の嘉言善行を以て目的とさせるものゝ加
目的を明記し古人
惹起して此目的を
となすに過ぎざる
如きは專の表裏に
むれば裏面に之を
すべしと云ひ又不
し蓋し事は表裏相
ば表面に關する事
する所を探究し之
なるを信ず
抑も普通教育は社
達するを以て目的
就て諸君は既に諸
科に於ては其目的
て以て日常人の當
き方法を懇示訓練
の教科書は教育上至
而して教科書を閲する
以て標準とし嘉言善行
えたるは予亦甚だ
向ひて之を目的とし
に非ざるなり故に
は兒童の感情を喜
亦或は必要ならん
を圖るものならん
弊を生ずることな
す

昨日本項の末行に

○府下實業者の集會
業者を撰出すべしと
京府下に於ても同様
日午後一時より同志
合して相談の上撰擧
體を組織することに
し原亮三郎、小野
則、小松正一、岡本
郎兵衛、澁澤榮一、
一平の諸氏當撰し終
て運動の方法を協議
日の中に一の事務所
下の各撰擧區より
と云ふ

○自由黨の宣言書
憤激勵の餘り同黨の
に訴ふるものなりと
て其宣言書を公にし

○末松謙澄氏宣言書
る一日年賀を兼ねて
區民に宛て一篇の宣
の候補者たるを諾し
るが故に其言論行爲
今日の政海は自由改
爲め陽に民權自由を
惑はさるゝ勿れ余は

○人造の鷄卵　米國
ストルリイなる人は
方法を發明し既に專
を建てゝ盛に製造を
聞くに先づ蛋黄と蛋
習くして後蛋黄を型
り左すれば蛋白は之
を機械に掛けて其外

○上野前橋間汽車發車時刻 [illegible]

○水戸鐵道發車時刻 [illegible]

○上野青森間發車時刻 [illegible]